

## 令和4年度第1回嘉麻市障がい者施策推進協議会会議録

日時：令和5年3月1日（水） 14時

場所：嘉麻市役所本庁5A会議室

○出席委員：会長（藤木委員）、副会長（藤嶋委員）、吉田委員、中村委員、古川委員、横山委員、西村委員、黒田委員、村谷委員、福澤委員、池田委員

○欠席委員：0人

○傍聴人：0人

1. 開会あいさつ  
仲島課長補佐よりあいさつ
2. 所長あいさつ  
石坂課長よりあいさつ
3. 委嘱状交付  
池田委員へ交付  
他の委員には机上に配布
4. 自己紹介（事務局職員、委員）  
事務局職員、委員 自己紹介
5. 会長の選任について  
（吉田委員）事務局に一任する  
会長→藤木委員  
副会長→藤嶋委員
6. 会長あいさつ  
藤木会長よりあいさつ

## 7. 議事

### 1) 第6期嘉麻市障害福祉計画・第2期嘉麻市障害児福祉計画について

(藤木会長) 事務局より説明

(事務局) 説明

(藤木会長) 質問はないか。見込み量が下回っているとあったが、具体的に何か市として協議しているか、今後協議していくのか。

(事務局) マイナスの要素としては、令和2、3年度はコロナの影響により、外出サービスの需給が少なくなっている。世の中の動向によるため、原因を加味しながら、今後元に戻るよう推進していく。

(藤嶋副会長) 就労継続支援B型が令和3年度増加しているが、市として要因は分かるか。

(事務局) コロナの感染拡大により外出は減ったが、在宅支援が出来るようになったため増加したと思われる。

(藤木会長) 他にないか。

(黒田委員) 全体的な評価として、「関係機関と協議」とあるが、具体的にはどこか。

(事務局) 社会福祉課が中心となり、飯塚市や桂川町、また基幹相談支援センターと協議していく。

(藤嶋副会長) 児童発達支援も令和3年度見込みより上回っている要因は何が考えられるか。

(事務局) 関係課と話したが、以前と比べて、親が子供に対して小さいうちからの療育支援を意識している。早いうちから受けさせて、成果がでるといことの周知も進んでいると考えられる。

(中村委員) 児童発達支援、放課後等デイサービスをよく見かける。学童もあると思うが、基準はどこか。

(事務局) 児童発達支援、放課後等デイサービス、学童の違いは、P.50の①の児童発達支援は日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適用のための訓練であり、就学前の児童を対象としており、②の放課後等デイサービスは学校通学中の障がいのある児童が、放課後や夏休みなどの長期休暇中において、生活向上のための訓練などを継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がいのある子どもの自立を促進するとともに、放課後などの居場所づくりをする。障がいのある子どもが学童ではなく、児童発達支援や放課後等デイサービスを利用する。

(中村委員) 精神疾患のあるかたは見た目じゃわからない。

(事務局) 利用できる子どもについては、保健師や病院に意見書をもらい、市からは調査員が調査している。

(中村委員) 最近極端に増えている。

(藤木会長) 後日疑問に回答でよいか。

(中村委員) よい。他に同じように思っている人がいると思う。

(藤嶋副会長) 診断を受けている子どもが増えている。圏域の事業所全部合わせて定員約 840 人のうち約 180 人は嘉麻市の子どもである。2市1町約 730 人受けている。増加している。

(中村委員) 鴨生多い。

(黒田委員) 多い。

(藤嶋副会長) 事業所がスキルアップできるよう子ども部会を開催している。預かるだけになったり、学童でもいい子どもが通所するようなことにならないよう考えていく必要がある。

(藤木会長) その他質問あるか。

(西村委員) 就労継続支援A型、就労継続支援B型からの一般就労は難しいと聞く。協議とは具体的にどうするか。

(藤木会長) 今具体的に協議するのは難しいと思う。

(池田委員) 事務局に要望だが、施設の住所を記入してほしい。

(事務局) 事業所数が多く、表にするのは難しいため検討する。

## 2) 飯塚圏域障がい者自立支援ネットワークの活動状況について

(事務局) 説明

(黒田委員) ネットワークの協議の会議録はあるか。

(事務局) 飯塚市のホームページで確認できる。

(藤木委員) 2市1町か。

(事務局) 2市1町である。

(藤木委員) 他にあるか。意見の中に障がい者の雇用について、企業から事業者が請け負うことがあるのか。

(事務局) 会議のなかで、現状にはないと報告があっている。

(藤木会長) ハローワークではどうか。

(福澤委員) 関東圏ではあるが、飯塚嘉麻桂川圏域ではまだない。現在、法定雇用率は 2.3%だが、令和8年度までに 2.7%に引き上げとなるため、ハローワークからも企業に声掛けをしている。

(村谷委員) 今日か昨日の新聞に載っていた。国は地域によって実情が違っているとコメントしていた。

(福澤委員) 2.7%に引き上げ大変だと思う。企業から事業者が請け負うことについては飯塚嘉麻桂川圏域ではまだ聞いていない。

(藤嶋副会長) 合法スレスレで雇用率を上げようとしている企業があると大牟田市の方が聞いて質問されていた。

(藤木会長) 他にないか。

なし

3) 障がい者就労施設等からの優先調達に係る取り組みについて

(事務局) 説明

(藤木会長) 質問はあるか

(藤嶋副会長) 前年から金額は増加しているか。

(事務局) 下がっている。コロナ拡大により学校や保育園の調達が減ったためと考えられる。

(藤木会長) 他にないか。

なし

4) その他

なし